

**お茶の水女子大学
ライフワールド・ウオッチセンター
増田研究室**

— 開講機関・連携機関 —

**2011年3月1日
第2回知の市場年次大会**

お茶の水女子大学増田研究室の 開講機関・連携機関としての特徴

1.主眼

高度な教養教育

2.機能

孵化(インキュベーション)機能

知の市場の拠点 —お茶の水女子大学増田研究室—

孵化(インキュベーション)機能

構造改革

社会人教育

社会人向けの
知の市場の科目を
大学学部の単位対
象科目として
位置付け

連結

学校教育

知の市場と関連した
教育内容や知の市
場に参画した講師
による大学・大学院
での科目を開講

新規開拓

- ・新たな分野への展開と幅広い人々や機関との間の新たな協力関係の構築
- ・教育に係りの乏しかった社会人の教育への参画

高度な教養教育

2010年度開講科目

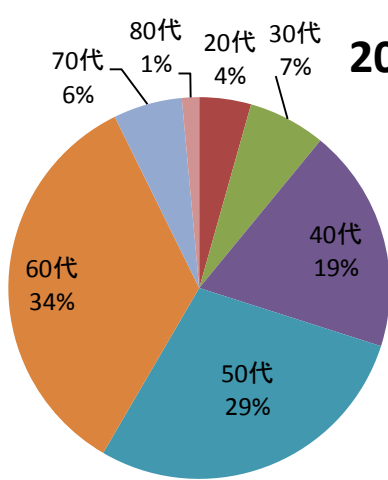
区分		科目番号	科目名	応募者 (人)	受講者 (人)	出席率 (%)	修了者 (人)	修了率 (%)	
共催講座	前期	新規	CT302a	科学と社会事例研究1	47	47	61%	36	70%
		新規	CT531	国際石油論	20	20	60%	12	60%
	後期	継続	CT302b	科学と社会事例研究2	26	26	59%	12	44%
		新規	CT471	金融特論1	43	43	62%	27	54%
	合 計				136	136	60%	87	64%
関連講座	前期	化学物質総合管理学《大学院》		3	3		3	100%	
	前期	安全管理概論《学部》		134	134		121	90%	
	通年	リスク管理(演習)《学部》*		18	18		7	39%	
	合 計				155	155		131	84%
総 合 計				291	291	60%	218	75%	

2010年度の受講実績

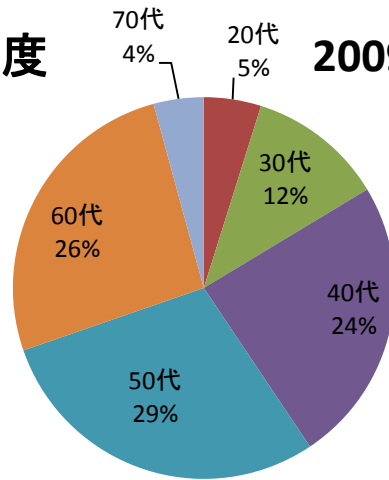
2010年度は共催講座として4科目を開講したが、このうち3科目は新規開講科目であった。これらの新規開講科目は国際石油に係る事柄、金融に係る事柄そして科学と社会に係る事柄を課題としており、知の市場の展開を新たな分野に広げるものであった。

2010年度の共催講座の受講者の合計は136名で1科目当たりの受講者は34名であり、2009年度の共催講座の1科目当たりの受講者41名を下回ったが、2010年度の知の市場全体の共催講座の1科目当たりの受講者32名を上回った。一方、関連講座の受講者の合計は155名で1科目当たりの受講者は52名であり、知の市場全体の関連講座の一科目当たりの受講者57名を下回った。

応募者の属性：年齢分布



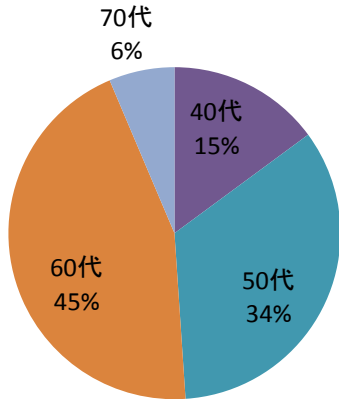
2010年度



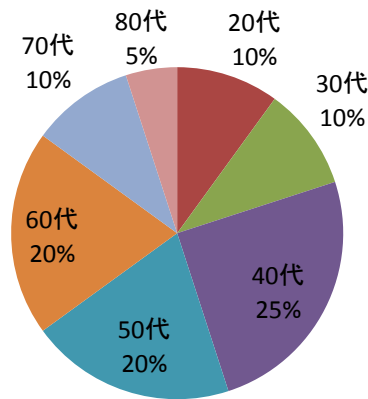
2009年度

20～50歳の現役世代が、知の市場全体では80%を超えているのに対して、増田研究室では前年度から減少して59%に下がった。
科目による差異が大きいですが、教養教育的色彩の強い科目ほど年齢層が高い。

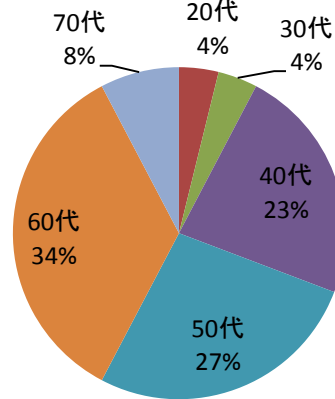
CT302a科学と社会1



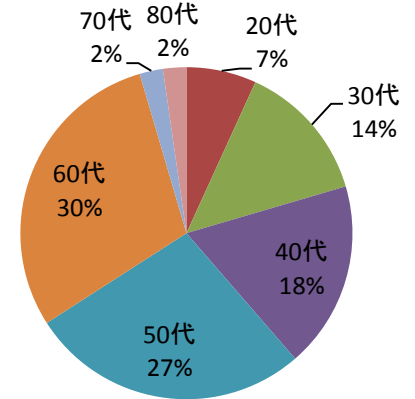
CT531国際石油論



CT302b科学と社会2

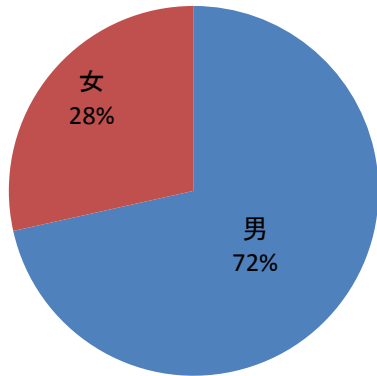


CT471金融特論1

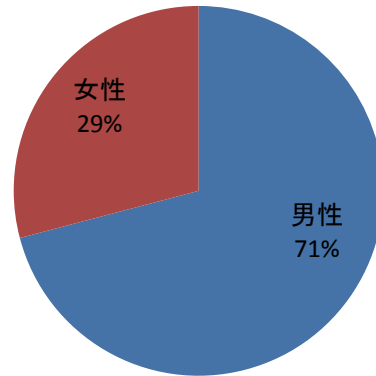


応募者の属性：男女比

2009年度



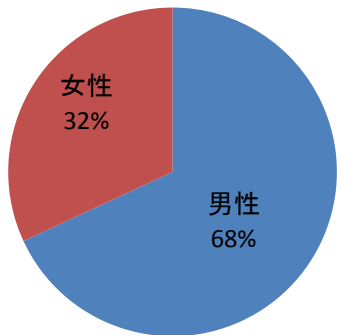
2010年度



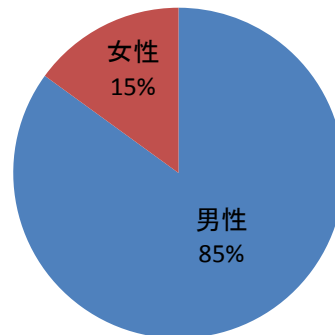
2009年度と2010年度さらに知の市場全体と比較してもほぼ類似している。

科目による差異が大きいですが、教養教育的色彩の強い科目ほど女性の比率が高い。

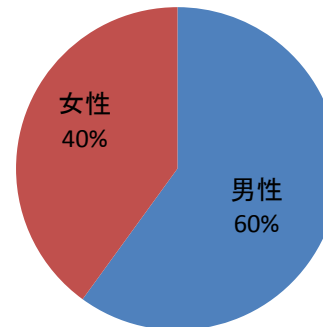
CT302a科学と社会1



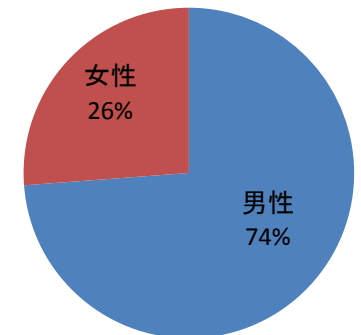
CT531国際石油論



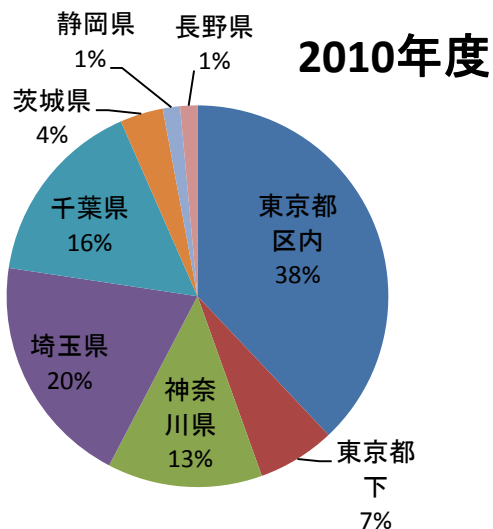
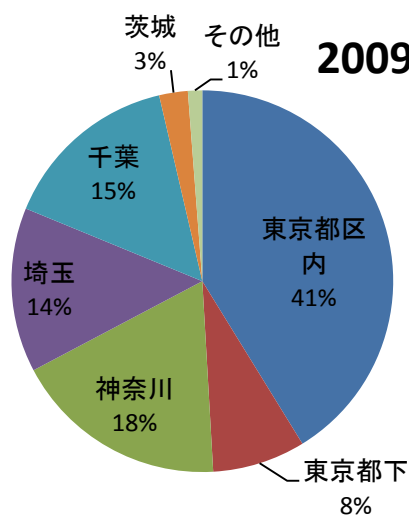
CT302b科学と社会2



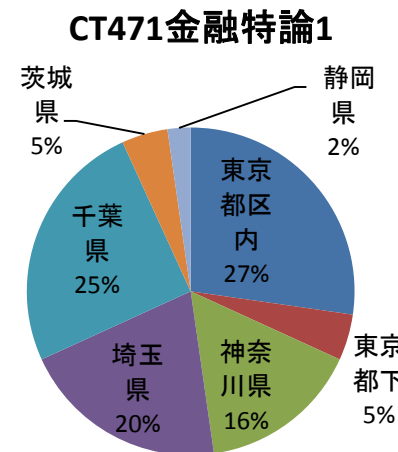
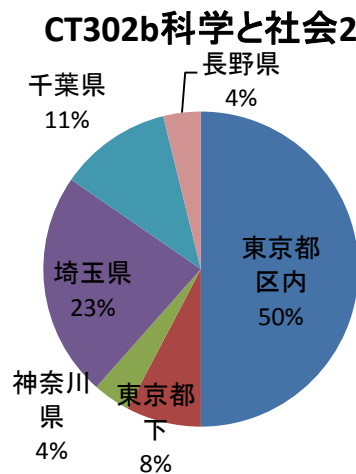
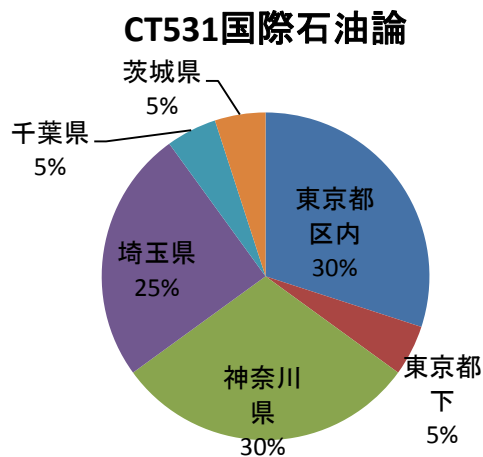
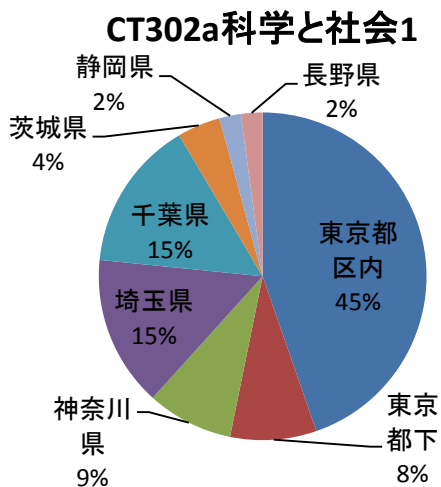
CT471金融特論1



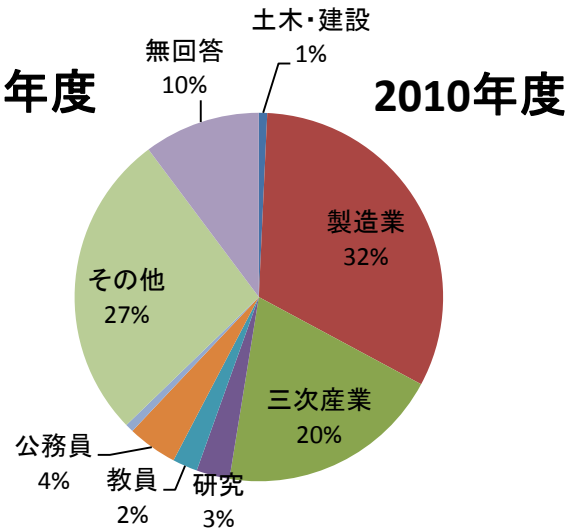
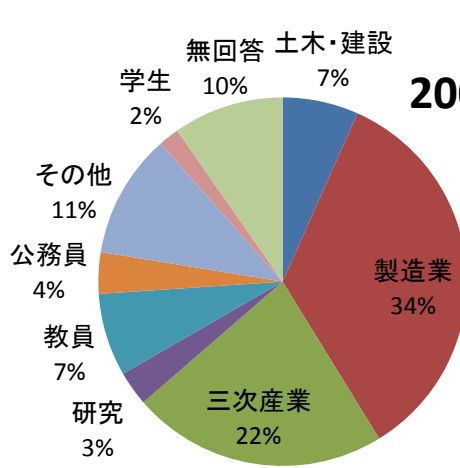
応募者の属性：居住地区



2009年度と2010年度さらに知の市場全体と比較してもほぼ類似している。同様に国遠方からの応募者も少なからずあった。科目による差異が大きいですが、教養教育的色彩の強い科目ほど東京都区内の比率が高い。

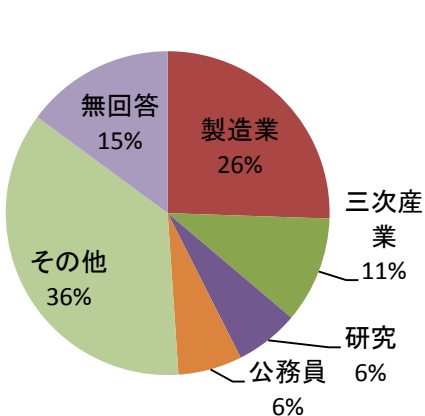


応募者の属性：業種別

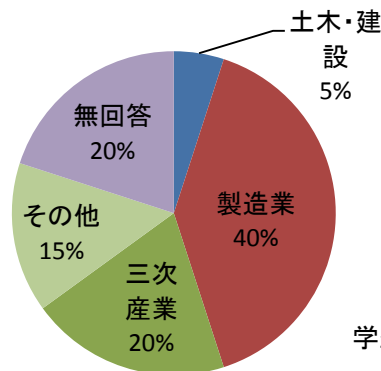


2009年度製造業が34%に対し、2010年度も製造業が32%と最も多い割合となり、さらに知の市場全体でもほぼ同じ割合となった。

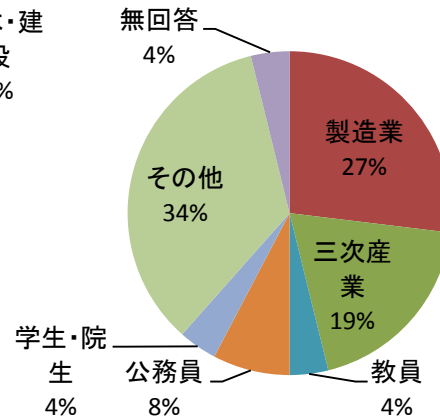
CT302a科学と社会1



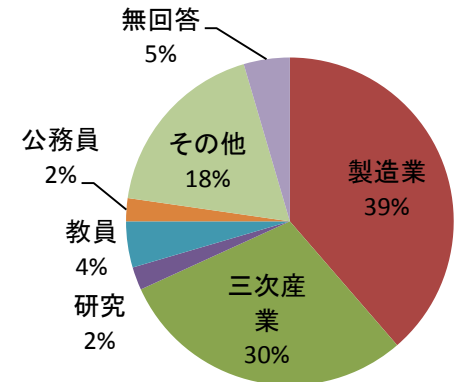
CT531国際石油論



CT302b科学と社会2

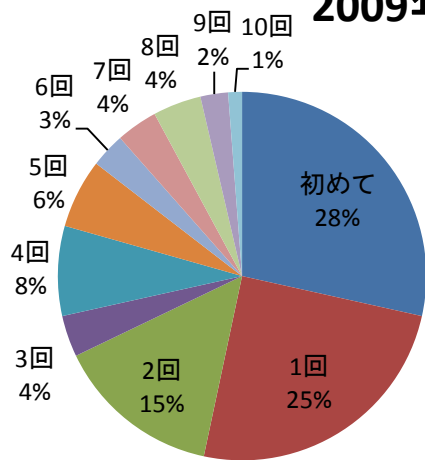


CT471金融特論1

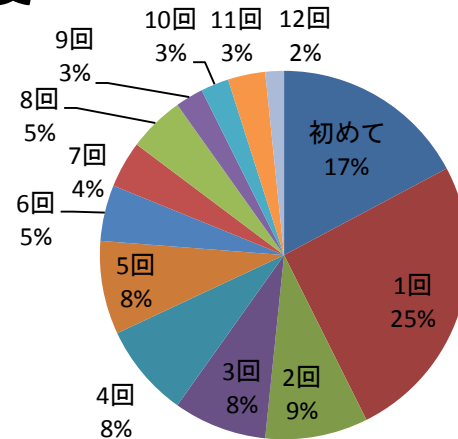


応募者の属性：継続受講の割合

2009年度

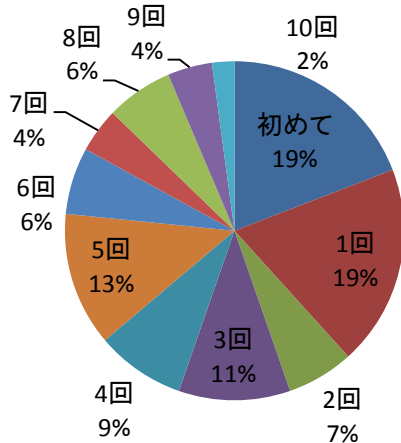


2010年度

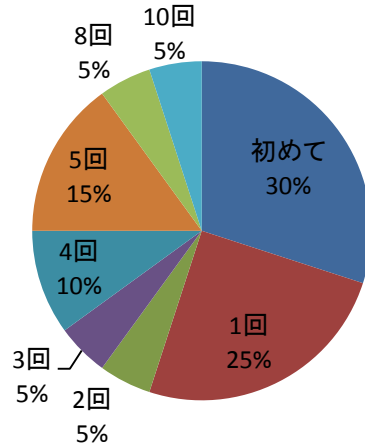


初めて受講する者の割合が2009年度の28%から2010年度の17%にさらに減少した。新新規受講者が50%を超える知の市場全体との違いは顕著である。これは、創始者として7年間にわたり継続的に開講してきた結果を反映している。

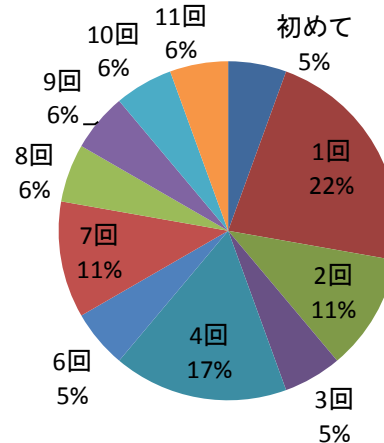
CT302a科学と社会1



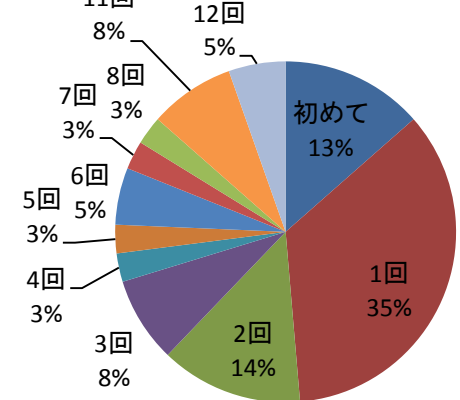
CT531国際石油論



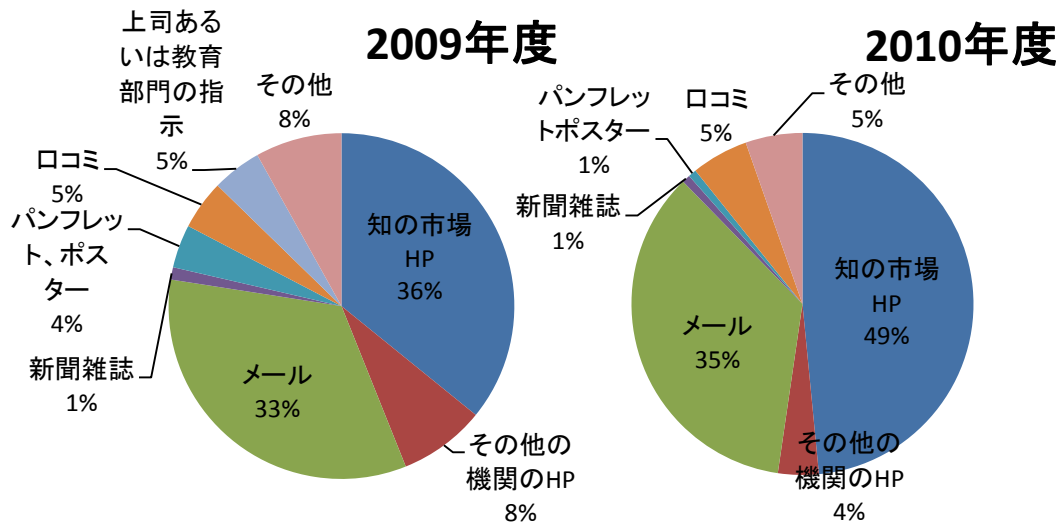
CT302b科学と社会2



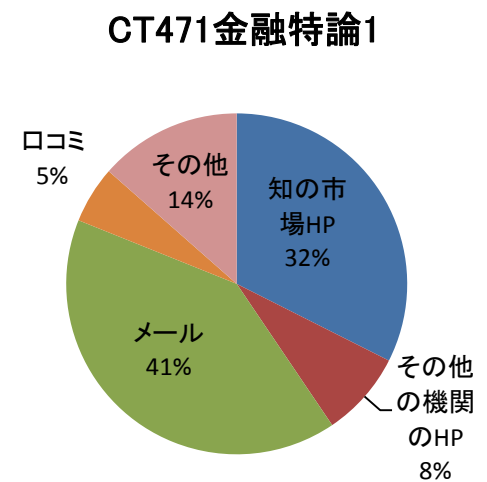
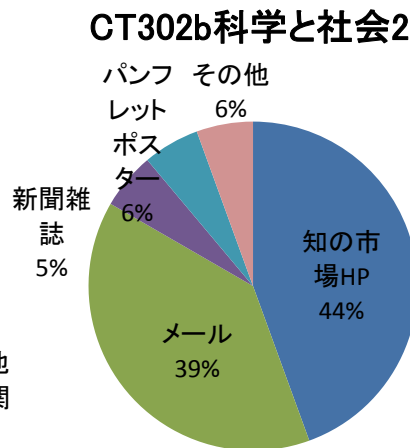
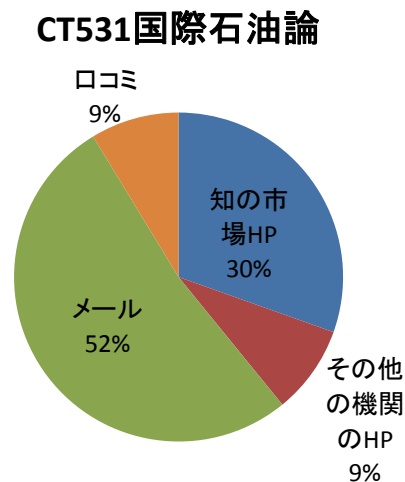
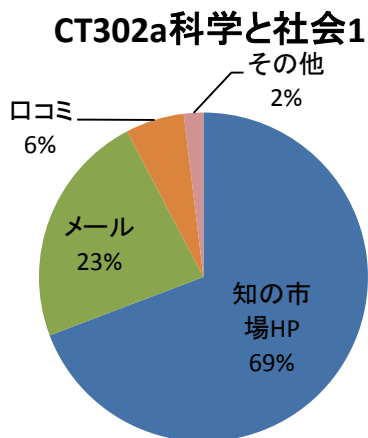
CT471金融特論1



応募者の属性：講座を知った情報源



HPやメールの割合が2009年度の69%に比べて2010年度は88%と、電子媒体による情報取得の比率がさらに高まっている。



2011年度開講科目

区分		科目番号	科目名－副題
共催講座	前期	新規	CT514 特許情報活用論－特許情報を活用する創造的活動の提案と紹介
		継続	CT531 国際石油論－日本とサウジアラビアの戦略的互惠関係の意義と発展のための条件を考える
		新規	CT541 金融特論2－金融業務を通じて、リスクとリターンの正体を探る
	後期	新規	CT133 化学物質総合経営概論－化学物質総合管理を目指す国際協調活動に学ぶ
		新規	CT551 知的財産権論－知的財産権の侵害にどう対処するのか制度改革と企業戦略の方向を問う
関連講座	前期	学部	社会技術革新学概論
	前期	学部	安全管理概論
	通年	学部	リスク管理(演習)*

2011年度の開講方針と概要

2011年度に共催講座として開講する科目は5科目であり、4科目が新規科目である。そして、4つの新規科目のうち2科目は知的財産や特許に係るこれまでにない新しい分野の科目であり、3科目はこれまで教育に係りの薄かった企業が連携機関として開講する科目である。そうして新規開拓の孵化機能を果たしている。

また、2011年度の共催講座の内容を活用して関連講座として開講する科目は1科目である。共催講座の5科目については、履修届を提出することによってリベラルアーツ「生活世界の安全保障」の科目に位置付けられるリスク管理(演習)を履修したのものとして2単位を取得することができる。こうして2011年度も構造改革の孵化機能を果たしている。

今後の方針

知の市場の創始者として長年の活動の中で培ってきた経験と信頼を基礎に、新規開拓や構造改革の孵化機能をさらに高めていく。